

各自治会・町内会 会長 様

栄区福祉保健課長

災害時要援護者が身に着ける「黄色いバンダナ」の取組みについて【情報提供】

1 事業の趣旨

災害時要援護者に関する取組について、自治会・町内会を中心に訓練等を行っていただいておりますが、発災時には地域で事前に把握できていない要援護者や配慮が必要であることが分かりにくい方、ケガ等により支援が必要になった方が地域防災拠点に避難されることも想定されます。

支援を必要な方が、必要な支援を受けることができるよう、発災時に配慮が必要な方が身に着ける「黄色いバンダナ」を各地域防災拠点に配布いたしますので、ご承知おきください。また、自治会町内会の皆様におかれましても、地域防災拠点等への避難行動時に要援護者が必要な支援を受けることができるよう、日頃より黄色いバンダナ等を活用した訓練等のお取組をお願い致します。

2 お願いしたいこと

【区連長】 ご承知おきください。

【地区連長】 ご承知おきください。

【単位会長】自治会町内会宛に 1 枚黄色いバンダナを配布いたします。また、下記の「4 日頃からの取組例」をご参考に、要援護者支援に関するお取組をお願い致します。

3 各地域防災拠点への配布内容

(1) 配布日

地域防災拠点訓練日等（地域防災拠点参加が持参します）

(2) 保管場所

防災備蓄倉庫

(3) 配布内容

黄色いバンダナ 10 枚

※ご参考に 1 枚各自治会・町内会へ配布いたします



4 自治会町内会の訓練時など、日頃からの取組例

(1) 主に災害時要援護者になりうる方に、黄色いバンダナをご準備いただくよう勧める。

※発災時は、負傷やパニック状態になる等して、誰しものが支援が必要となる可能性があります。災害時要援護者に限らず、広く周知いただきますようお願いいたします

(2) 要援護者が黄色いバンダナを身に着けていることを周知し、可能な限り声掛けや避難支

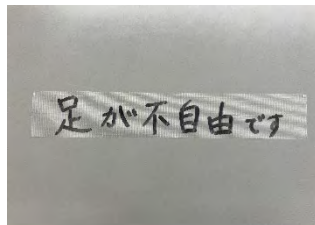
援を行う。

【作ってみよう！～簡単3Step～】ぜひホームページでもご確認ください

(1) 黄色いハンカチや布を三角
になるように折る



(2) 養生テープ等に支援が必要な
理由や必要な支援を記載する



(3) 張り付けて完成！

首や腕などに身につけましょう



【黄色の布がないとき・・・】



100 円ショップ等の市販の黄色いバンダナも活用できます。
地域において日頃より、下記について周知を行いましょう。

- ・ 支援が必要な時は「黄色いバンダナ」を身に着ける
- ・ 「黄色いバンダナ」を身に着けた人がいた際は可能な限り、
声かけ等の支援を行う

【他にもこのような使い方ができます】



- ・ 包帯
- ・ マスク
- ・ 防寒
- ・ 止血（清潔なガーゼ等がない際の応急処置） 等

【ホームページでもご紹介しています！】

検索

栄区 HP 二次元コード



担当 福祉保健課事業企画担当 三石・佐藤
電話 894-6962 F A X 895-1759
メールアドレス sa-youengo@city.yokohama.jp

	災害時医療体制強化事業	災害時要援護者支援事業	
啓発物品名	・使い捨てカイロ ・携帯トイレ	安否確認用マグネット	支え合いのための 黄色いバンダナ
目的	① ケガの緊急度に応じた適切な医療機関の受診勧奨 ② 災害時に開院・開局している医療機関・薬局を示す「イエローフラッグ(のぼり旗)」の周知	① 発災時の要援護者を含む在宅避難者の安否確認	① 発災時に要援護者が身に着けることによる、要援護者への必要な支援の確保 ② 避難場所までの避難支援や拠点での誘導など支援者による円滑な支援の実施
配布先	自治会・町内会	自治会・町内会	地域防災拠点
配布数	各最大 20 個	1 自治会・町内会あたり、50 個から自治会・町内会の世帯数の 10%まで	各 10 枚配布 ※参考として自治会町内会へ各 1 枚配布します
申込み方法	・電話 ・メール ・窓口(要事前連絡)	・電話 ・メール ・窓口(要事前連絡)	・今年度追加配布なし
物品イメージ	(表)  (裏) 	(表)  (裏) 	 
参考資料	チラシ「災害時のケガは緊急度・重症度に応じた医療機関へ」		
ホームページ	検索 栄区 災害時医療 	検索 栄区 災害時要援護者支援 	

【災害時医療体制強化事業】

担当：福祉保健課 加藤・永田・伊皆・畑尻

【災害時要援護者支援事業】

担当：福祉保健課 三石・佐藤

電話：894-6962

メール:sa-fukuho@city.yokohama.lg.jp